

JC URAYASU 2005 PRESS



URL <http://www.urayasu-jc.net>

2005年2月発行(社)浦安青年会議所 総務委員会 会員数 55名 事務局 〒279-0004 浦安市猫実1-19-36 浦安商工会議所会館内 TEL&FAX 047(380)5300

2005年度 社団法人 浦安青年会議所 基本方針並びに事業計画

もっとAvant-garde(アバンギャルド)に! —大好きなこのまちの未来に向けて—

理事長 内田悦嗣



■基本方針

「明るい豊かな社会」の実現をめざし、私たちは活動していますが、自分自身のため、そしてまちのために本当に価値のある活動ができているかどうか、私は疑問に思うことがあります。

地縁的な社会関係が希薄になっている中、青年会議所は地域に根ざした青年の集合体として評価されていることは事実であると思いますが、他に横の広がりを持った団体が少ないということで、存在が過大に評価されているような気もしています。

いつの時代も歴史を動かしたのは「若い力」であると言われる。

明治維新など既成の社会構造を覆す原動力は確かに若い力でした。しかし、今、社会構造を覆すだけの資質と情熱を私たちが持ち合わせているのでしょうか。

まちの中での様々な事業を通じてある程度の自己実現は達成されており、組織の中での研修を通じてある程度の自己修練も行われています。ただ、「何か足りない」、冷静に浦安JCの現状を見渡し考えたとき、こう感じるメンバーも少なくないと思います。

単に集まっていることを評価されるのではなく、「若い力」として活動が認識され、社会構造を少しでも変えることができたとき、模倣ではない独自性、主体性を持った何かを浦安JCから発信していくことができたときに、地域のなかでの青年会議所の本当の意味での評価が顕れてくるのです。その評価を受けるためには、メンバー一人ひとりの資質の向上とあふれる情熱が基になることは確かです。

では、青年会議所は何に取り組んでいくべきか、何を発信していくべきでしょうか。

それは今、可能な限り将来を見通しながら、若い力として「まちのため」「自分のため」に前進するための行動を起こしていくことだと思います。まちづくりの先駆け、地域

づくりの前衛的団体としての自覚を持ちながら、地域の諸課題を自分たちで見つけ出し、積極的に取り組んでいくことが大切なのです。

現時点で評価を受けなくても5年後に評価される、そんな活動を、失敗を恐れることなく展開していくことこそ、私たち青年会議所としての使命であり、私たちに求められているものです。

本年2005年、浦安青年会議所は創立25年目の年を迎えました。

浦安市制施行の年に創立された浦安JCの歴史は、浦安のまちとしての発展の歴史であるとも言えます。

これまでの25年間で浦安JCは、創立以来「修練」「奉仕」「友情」の信条のもと、時代の要請とともに様々な事業を展開し、まちづくりの前衛として活動してきました。そして、JCは多くの友情が生まれる土壌となり、その友情の輪は確実に広がっています。

私は、この歴史と伝統を引き継ぎ、新しい歴史のスタートとして2005年を位置づけ、自分たちの可能性を信じ、自分たちをもっと輝かせるため、そして、このまちの未来に向け全速力で駆けていきます。

まちづくりの担い手として、
大好きなこの浦安の未来に向けて、
価値ある活動を展開しよう!

■事業計画

- ・ 未来に向けた創立25周年事業の開催
- ・ 地域の活力となる事業の展開
- ・ 時代に対応した組織体制の確立
- ・ 自己研鑽のための研修の充実
- ・ 第38回千葉ブロック会員大会への支援・協力

NEW FACE — 新入会員をご紹介します —



いづか むねひこ
飯塚 統彦
1973年3月12日生

勤務先 (株)飯塚土地管理
趣味 コンピューターグラフィックス
入会の動機 父の勧めにより



さいかわ よしずみ
西川 嘉純
1976年3月25日生

勤務先 (株)もしもしホットライン
役職名 スーパーバイザー
趣味 テニス、観劇
入会の動機 「地元浦安での交流を通し、職場とは違った人の輪を広げ、自らの成長を促したい、またふるさと浦安をもっと探求したい」と思いました



なかやま けんじ
中山 健司
1968年8月9日生

勤務先 (株)ホテルオークラ東京ベイ
役職名 宴会販売部宴会セールス主任
趣味 ドライブ
入会の動機 人脈を広げるため

2005年度委員会紹介

総務委員会

委員長 片岡雄一郎

本年度の総務委員会は、メンバーの結束と浦安青年会議所全体の運営を支えるサポート役として全力を尽くして活動していきます。

また、創立25周年という節目の年であることを契機とし、ホームページのより一層の充実や定款・諸規定の見直し等にも取り組んでいきたいと思えます。

一年間よろしくお祈いします。

25周年事業運営委員会

委員長 浦田一哉

私たち25周年事業運営委員会では、創立から現在に至るまで浦安青年会議所の歴史を感じられる式典の開催、そして創立25周年記念事業として、ロボットをテーマに次代を担う子供たちに夢を与えられるような事業を開催します。

また、9月には千葉ブロック会員大会が浦安の地で開催されることもあり、開催地青年会議所のメンバーとして、一人一人が力を出し切りたいという意気込みです。

一年間よろしくお祈いします。

会員交流委員会

委員長 川口秀昭

当委員会は、(社)浦安青年会議所メンバーの「友情」を育んでいくために、「感謝」・「交流」・「飛躍」という三つのテーマを基本とし、本年度活動します。

まち事業委員会

委員長 富樫光則

本年、私たち“まち事業委員会”では、勝ち負けを通し子どもたちの生きる力を育むための『わんぱく相撲浦安場所』を引き続き開催していくと共に、今必要とされている事業は何かを考え、地域の環境をテーマに事業を開催していきます。

研修委員会

委員長 丸茂一城

本年度、研修委員会では“日本経済”をテーマとした例会を開催いたします。大きなテーマで難しくなりがちですが、厳選した講師をお招きして日本経済をわかりやすく解説し、また、経済を身近なものと考えられる例会の開催を目指します。

さらに、第一線で活躍する講師、著名人をお招きする事により、メンバーの出席率のより一層の向上も考えております。どうぞ、当委員会の例会を期待して頂き、一年間よろしくお祈いいたします。

会員拡大委員会

委員長 中村裕之

本年度、会員拡大委員会ではJCの魅力を再確認し、志高き次代の人を一人でも多く増やしていくために、「新しい出会い」を求めて一年間活動して行きたいと思えます。

4月第一例会 創立25周年記念「浦安ROBOTフェスティバル」

担当 25周年事業運営委員会

(社)浦安青年会議所は、4月24日(日)浦安市文化会館において、4月第一例会「浦安ROBOTフェスティバル」を開催します。

戦後日本が経済発展を遂げ技術大国となったその基には、技術と科学の無限の可能性を信じる心と夢を実現させるパワーがありました。

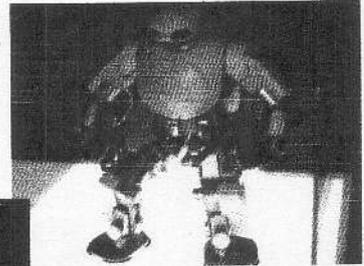
こんにちまで物的資源のない日本が、経済大国と言われるまでに発展できたのは、優れた技術があったからです。現在、工業分野を中心に飛躍的に発展を遂げている「ロボット」は、今後私達の生活分野においても欠かせない存在となることでしょう。そして、今年愛知で開催される万博では100体を超すロボットが展示される予定です。多くの企業や大学の研究開発の状況からも注目度の高い分野であり、今後の中心産業となりうるものだと思います。

また、現在の日本では夢を持ってない子どもたちが増えていると言われております。

そこで次代を担う子どもたちに未来の可能性と大きな夢を持ってもらうべく、「ロボット」をテーマに浦安ROBOTフェスティバルを25周年記念事業として開催します。

今回、千葉工業大学未来ロボット技術研究センター(FURO)の古田貴之所長のご協力により、モルフ3(部品代だけで3000万円)の解体LIVE、そして日テレの「ワールド☆レコーズ」で放映されている「ROBO-ONE」グランプリを誘致できることになりました。皆様、奮ってご参加いただけますようお願いいたします。

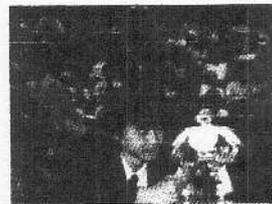
解体予定のモルフ3



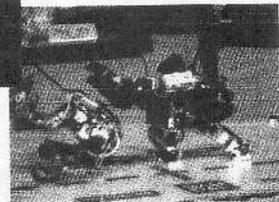
子供と楽しそうに分解する古田貴之所長



夢中になって分解している



古田貴之所長とモルフ3



ROBO-ONEでは、こういったシーンが見られるかも?



目を輝かせて、ロボットを見る子供



第6回ROBO-ONE大会の出場者達

5月第一例会 創立25周年記念「第18回わんぱく相撲浦安場所」

担当 まち事業委員会

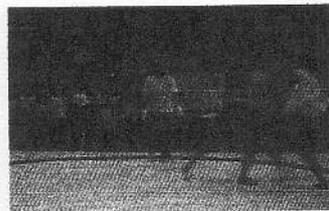
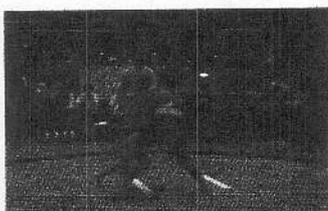
(社)浦安青年会議所の継続事業「わんぱく相撲浦安場所」は今年18回目を迎えます。

全国的に参加児童の減少により「わんぱく相撲」参加を辞退する青年会議所の多い中、浦安では毎年参加人数が増えております。昨年は600名を超える児童が参加し、盛大なものとなりました。ここまで大きく開

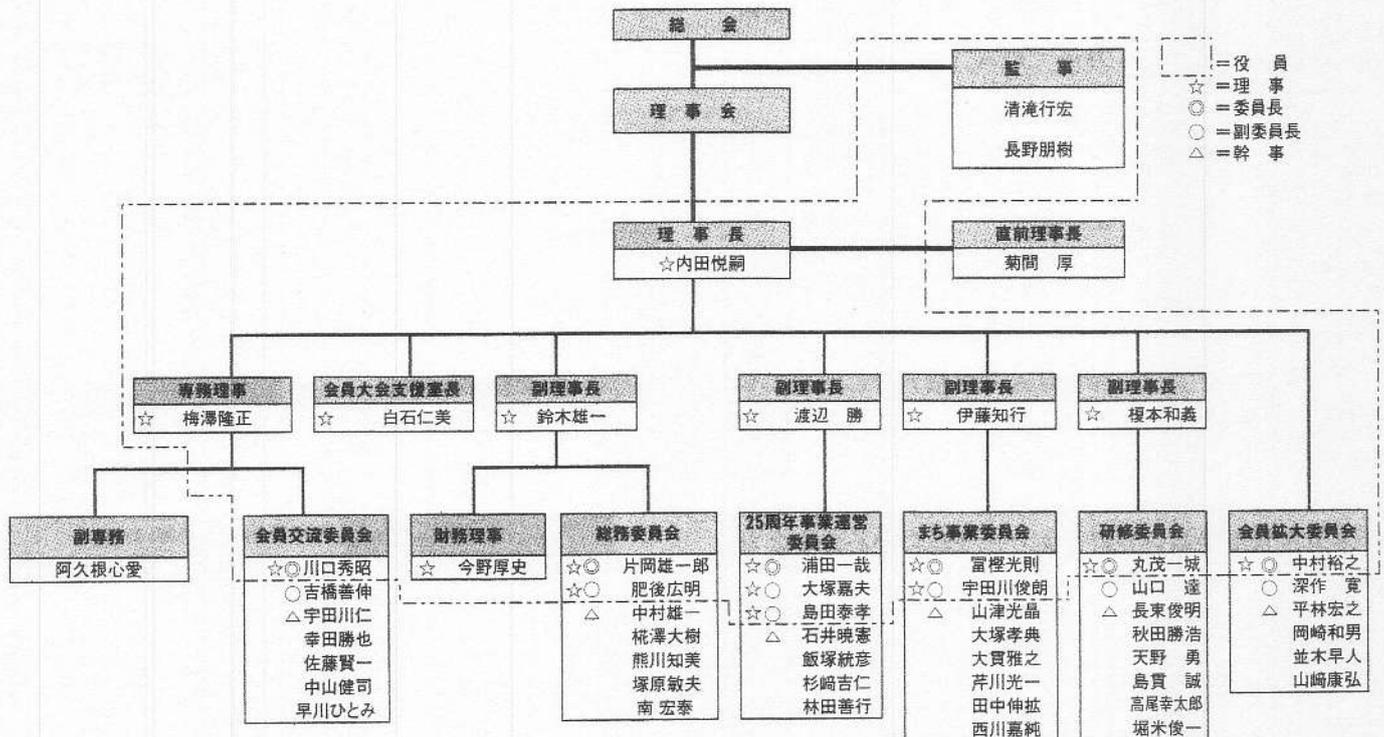
催できるのも、皆様のご協力のおかげであると存じます。

本年も創立25周年記念事業として「第18回わんぱく相撲浦安場所」を5月21日(土)浦安市市民体育館のメインアリーナにて開催いたします。是非、皆様観戦にいらしてください。

本年もご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



2005年度 (社)浦安青年会議所 組織図



2005年度 出向者

《関東地区協議会》		《千葉ブロック協議会》	
林田善行	事務局員	白石仁美	会員大会委員会
		阿久根心愛	会員大会委員会
《千葉ブロック協議会》		石井暁憲	会員大会委員会
菊間 厚	監 事	柁澤大樹	会員大会委員会
		島田泰孝	会員大会委員会

編集後記

2005年、「乙酉(きのと・とり)」。二回り、120年前の「乙酉」は明治18年。ヨーロッパ型の内閣制度をスタート、初代総理大臣に伊藤博文が就任した。巡って前回は昭和20年、戦後の日本がスタートした年である。どうやら「乙酉」は、新しい世の中がスタートする年となるらしい。

人口問題研究所の低位推計によると、今年日本人の人口がピークとなり減少に向かう。日本人の減少という未知の世の中が始まる。そんな大きな問題に我々に何がで

きるのか。

長州の足軽の子であった伊藤博文が総理大臣になったように、戦後復興から日本が世界有数の経済大国になったように、今年創立25周年を迎える浦安JCは、『もっとAvant-garde(アバンギャルド)に！ー大好きなこのまちの未来に向けてー』、地域のために創造し、活動していこうと思っています。

JCPRESS編集長 塚原敏夫